

博物館と学校の連携に関する事例調査票

記入者職名	
記入者氏名	

1 基礎情報 【貴館の施設等についておたずねします】

【施設データ】

①館 名					
②所在地	住 所	F A X			
TEL					
③設置年	年	④延床面積		m ²	
⑤設置主体		⑥入館者数（平成 20 年度）		人	
⑦HPの有無	有【アドレス】 無				
⑧展示内容 （該当するところすべてに○をつけてください）	1 総合 2 歴史系 3 美術系 4 自然系 5 その他（ ）				

【施設の管理運営等】

①	職 種	専 任	兼 任	兼任の職名	勤務の形態
職 員 の 状 況	館 長	人	人		常勤・非常勤
	副館長	人	人		常勤・非常勤
	学芸員	人	人		常勤・非常勤
	指導主事	人	人		常勤・非常勤
	管理系職員	人	人		常勤・非常勤
	その他（ ）	人	人		常勤・非常勤
	計	人	人		
	該当する事項に○を記入ください。 (1) 館長が教員の退職者である。() (2) 副館長が教員の退職者である。() (3) 教員から異動している学芸員が配置されている。() (4) 教員の退職者である非常勤職員・嘱託職員が配置されている。()				
②友の会 該当する方の□にチェックを入れてください。例 ☒		☐ 組織している（会員 ）名 ☐ 組織していない （組織の名称： ）			
③博物館支援にかかわるボランティア 該当する方の□にチェックを入れてください。例 ☒		☐ ボランティア組織がある（名称 ） ☐ ボランティアはいるが、組織化されていない（ 名） ☐ 団体と個人で活動するボランティアが混在する ☐ ボランティアは組織も個人も受け入れていない			

2 博物館と学校の連携の実態

問1 貴館は、学校と連携した事業（学校の団体での展示・見学利用、学校へ出向いての授業等、教職員への研修等）を実施していますか。該当する番号に○をつけてください。

- 1 はい → 問3、4、5、6へ進んでください
2 いいえ → 問2へ進んでください

問2 いいえの理由はどのようなものですか。
理由を記入してください。

記入後、問12以降へ進んでください

問3 学校との連携に関して、貴館を利用している学校の校種別利用状況は、概ねどの程度ですか。（合計が10割となるよう0～10で記入願います。）

幼稚園（ ）割 小学校（ ）割 中学校（ ）割
高等学校（ ）割 特別支援学校（ ）割

問4 学校（児童生徒・教員）の貴館利用についておたずねします。

① 実施していること（記号）に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 展示見学（遠足等）時の解説
イ 総合的な学習の時間での利用への対応
ウ 教科書や指導内容に準拠した企画展示の実施
エ 児童生徒を対象とした主催事業の実施
オ 職場体験（インターンシップ等、但し大学生の博物館実習を除く）の受入れ
カ 体験活動プログラムの提供
キ 児童・生徒対象の「ガイドブック」「ワークシート」の作成と配布
ク 教員を対象とした「利用の手引き」の作成と配付
ケ 館内での教科等の授業の実施時の解説
コ 夏休み自由研究相談会の実施
サ 学校教員を対象とした研修会の実施
シ その他（ ）

② 学校（児童生徒・教員）が貴館を利用する成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 日常の来館者数が増加した
イ 展示の内容や方法など博物館活動の工夫につながった
ウ ボランティアや地域との連携を意識するようになった
エ 学校との連携を意識するようになった
オ その他（ ）

③ 学校（児童生徒・教員）の貴館利用にともなう課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 来館の交通手段（バス等）の確保が不十分
イ 児童生徒に説明するスペースの不足（全体説明のための研修室やロビーなど）
ウ 対応する職員の不足
エ 学校利用に対応してくれるボランティアが不足（又はいない）
オ 学校利用のための解説資料・ワークシートがない
カ その他（ ）

問5 学校へ出向く活動（館外活動）についておたずねします。

① 実施している事業の記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 学芸員等が学校に出かけて資料を用いて授業を行う
- イ 移動博物館・学校巡回展
- ウ 資料の貸し出し
- エ その他（ ）

② 学校へ出向く活動（館外活動）事業を実施することによる成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 日常の来館者数が増加した
- イ 展示の内容や方法など博物館活動の工夫につながった
- ウ ボランティアや地域との連携を意識するようになった
- エ 学校との連携を意識するようになった
- オ その他（ ）

③ 学校へ出向く活動（館外活動）事業の実施にともなう課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 移動等の予算（出張旅費）が不十分
- イ 学校での展示スペースや説明するスペースの不足
- ウ 対応する教員との打合せ時間の不足
- エ 対応する教員との意思疎通の不足
- オ 授業等で活用できる解説資料・ワークシートができていない
- カ 資料を運搬する方法や手段が不十分
- キ その他（ ）

問6 研修・広報・教育普及等についておたずねします。

① 実施している事業の記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 教員を対象とした研修の実施（年間 回）
- イ 教員を構成メンバーとした博物館活用研究会等の実施
- ウ ホームページ上における学校向けサイトの開設
- エ ホームページ上における子ども向けサイトの開設
- オ 教員向けメルマガの配信
- カ 児童生徒の作品を博物館で展示
- キ 博物館だよりを作成・発行し、学校にも送っている
- ク TV会議システムによる遠隔授業の実施
- ケ その他（ ）

② 研修・広報・教育普及等を実施することによる成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 日常の来館者数が増加した
- イ 博物館（事業を含む）の周知につながった
- ウ 展示の内容や方法など博物館活動の工夫につながった
- エ ボランティアや地域との連携を意識するようになった
- オ 学校との連携を意識するようになった
- カ その他（ ）

③ 研修・広報・教育普及等にともなう課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 学校との打合せの時間が十分とれない
- イ ホームページや博物館だより等の作成の時間や予算が十分とれない
- ウ 展示や活動スペースの不足
- エ 学校利用に対応する職員が不足している
- オ 活動を支援するボランティアが不足している（又はいない）
- カ その他（ ）

問 7 問 4～6 の回答の中での特徴的な取組事例について具体的に御紹介ください。
又はチラシ等の資料がある場合は、それを添付のみでかまいません。

問 8 貴館を利用する学校ではどのような教科・領域に関して利用していますか。該当する番号すべてに○をつけてください。(貴館で掌握している範囲で回答願います。)

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1 国語 | 7 図画工作 | 13 総合的な学習の時間 |
| 2 社会 | 8 家庭 技術・家庭 | 14 その他 () |
| 3 算数 (数学) | 9 体育 (保健体育) | |
| 4 生活 | 10 外国語 | |
| 5 理科 | 11 道徳 | |
| 6 音楽 | 12 特別活動 (遠足) | |

問 9 学校との連携における成果はどのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1 日常の来館者が増加した
- 2 利用する学校が増えた
- 3 夏休みの児童生徒の利用者が増えた
- 4 土日の児童生徒の利用者が増えた
- 5 展示や企画展等に生かすことができた
- 6 学校利用に対してボランティアが支援をするようになった
- 7 その他 ()

問 10 学校との連携における課題はどのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1 学校教員との連絡調整等のための時間が不十分
- 2 異動があるため担当の教員との継続的な連携ができない
- 3 学校がどのようなものを必要としているか把握できていない
- 4 学校対応のための博物館職員の研修等受入態勢が整備されていない
- 5 職員数が少ないため、十分な対応ができない
- 6 博物館業務が多忙のため、十分に対応できない
- 7 スクールバス等の交通手段が不足している
- 8 その他 ()

3 学校との連携の組織体制について

問 11 学校との連携のための組織体制についておたずねします。該当する番号に○をつけてください。

- 1 学校との連携に関する担当者 (窓口) がいる。
- 2 指導主事が配置されている
- 3 教員を含む博物館利用委員会等を組織している
- 4 博物館協議会を設置し、学校との連携について検討している
- 5 その他 ()

4 学校との連携の意義について

問 1 2 これからの博物館運営の上で、学校との連携の必要性について、該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1 博物館の利用者の増加のため
- 2 博物館活動の活性化のため
- 3 開かれた博物館活動を目指すため
- 4 博物館の運営方針にうたわれているため
- 5 地域社会との関係づくりのため
- 6 ボランティアの活動の場の提供のため
- 7 学校との連携は必要ない
- 8 その他 ()

5 ボランティアの参加について

問 1 3 貴館では博物館活動を支援するボランティアを受け入れていますか。

- 1 はい → 問 1 4、1 5、1 6 へ進んでください
- 2 いいえ → お疲れ様でした。

問 1 4 ボランティアの方々と、学校との連携事業とのかかわりについて、該当する番号に○をつけてください。

- 1 児童生徒・教員への常設展示の解説
- 2 体験活動の説明や支援
- 3 学校教員との打合せ
- 4 児童生徒向け資料の作成と配布
- 5 オリエンテーションや全体説明
- 6 関与していない
- 7 その他 ()

問 1 5 学校との連携の中で、ボランティアが対応していることの成果は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。

- 1 ボランティアの活動意欲が向上した
- 2 ボランティアの活動時間が拡大した
- 3 ボランティアの活動内容が多様化した
- 4 その他 ()

問 1 6 学校との連携の中でボランティアが対応していることの課題は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。

- 1 対応するボランティアが不足
- 2 ボランティアへのニーズがない
- 3 活動内容の多様化に対する予算的対応ができない
- 4 活動スペースの不足
- 5 打ち合わせ日程がとりにくい
- 6 児童・生徒への対応のスキルが不十分
- 7 その他 ()

ありがとうございました。

学校の博物館利用に関するアンケート

問 1 本年度、あなたの学校で、どのような内容で＜那須野が原博物館＞、＜宇都宮美術館＞、＜小山市立博物館＞を利用しましたか。それぞれ該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

① 博物館に出向いての利用

- ア 遠足などの学校行事で展示を見学した
- イ 総合的な学習の時間で利用した
- ウ 総合的な学習の時間以外の教科で利用した
- エ マイチャレンジ（職場体験・社会体験）を受け入れてもらった
- オ PTA などの行事で展示を見学した
- カ その他（ ）

② 博物館において利用したもの

- ア 児童・生徒が自由に展示を見学した
- イ 学芸員等の説明・解説を聴きながら展示を見学した
- ウ 博物館発行のワークシートを利用して展示を見学した
- エ 体験活動のプログラムを利用した（教科名 ）
- オ 視聴覚教材を利用した
- カ その他（ ）

③ 学校内での利用

- ア 学芸員等が来校し、資料等を用いて授業を行う
- イ 移動博物館・学校巡回展を行った
- ウ 博物館資料の貸出を受けて、教員が授業等で利用した
- エ 視聴覚教材の貸出を受けて、教員が授業等で利用した
- オ 博物館の図録や資料、HP を利用して教材を作成した
- カ その他（ ）

④ その他の博物館との関係

- ア 教員対象の研修会に参加した
- イ 教員が博物館の普及事業に参加した
- ウ 教員が博物館の事業に協力した（講師、ボランティアなど）
- エ 児童・生徒が博物館活動に協力した
- オ 博物館の企画展や各講座等のチラシ・案内を児童・生徒へ配布した
- カ その他（ ）

問 2 どのような教科・領域で＜那須野が原博物館＞、＜宇都宮美術館＞、＜小山市立博物館＞を利用していますか。該当する番号すべてに○をつけてください。また、その利用学年を記入ください。

- | | | | | | |
|---|---------|----|----|------------|----|
| 1 | 国語（ | 年） | 8 | 家庭 技術・家庭（ | 年） |
| 2 | 社会（ | 年） | 9 | 体育（保健体育）（ | 年） |
| 3 | 算数（数学）（ | 年） | 10 | 外国語（ | 年） |
| 4 | 生活（ | 年） | 11 | 道徳（ | 年） |
| 5 | 理科（ | 年） | 12 | 特別活動（遠足等）（ | 年） |
| 6 | 音楽（ | 年） | 13 | 総合的な学習の時間（ | 年） |
| 7 | 図画工作（ | 年） | 14 | その他（ | ）（ |

問 3 ＜那須野が原博物館＞、＜宇都宮美術館＞、＜小山市立博物館＞を利用することにより、教育活動の成果があったと思いますか。該当する番号に○をつけてください。

- 1 学校では得がたい体験や実物資料によって、興味関心が喚起され、児童生徒の学習意欲が向上した
- 2 教材開発の参考となり、教科・単元の目的達成に効果があった
- 3 事前打合せや連絡調整が多く、手がかかる割には効果が薄い
- 4 教科学習との関連が薄く、興味関心にもあまり効果が見られなかった
- 5 その他（

問 4 ＜那須野が原博物館＞、＜宇都宮美術館＞、＜小山市立博物館＞の利用にあたっての課題は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

- 1 博物館職員との連絡調整等のための時間が不十分である
- 2 教職員の異動等のため、博物館・美術館等の職員との継続的な連携ができない
- 3 業務が多忙のため、連携内容の十分な検討・評価ができない
- 4 毎年の行事になっているため、連携内容がマンネリ化している
- 5 事前・事後の指導や準備に時間を取られる
- 6 その他（

問 5 博物館が発行する教員用の「利用の手引き」・児童生徒用のワークシートや博物館が主催する研修会について、該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

- 1 教員用の「利用の手引き」も「ワークシート」もよく利用している
- 2 「利用の手引き」は利用しないが「ワークシート」は利用している
- 3 「利用の手引き」も「ワークシート」も存在は知らない
- 4 「ワークシート」は博物館の資料を参考にして自分で作成している
- 5 博物館が主催する教員対象の研修会には必ず誰か参加している

問 6 博物館・美術館等を利用したの感想や要望等を自由に御記入ください。（回答用紙に記入ください。）

御協力、ありがとうございました。

12月24日（木）までに、この回答用紙のみをFAXにて御返信ください。

栃木県総合教育センター生涯学習部 宛	学 校 名	
F A X 0 2 8 - 6 6 5 - 7 2 1 9	記入者職・氏名	

学校の博物館利用に関するアンケート 回答用紙

※あてはまる選択肢に、○をつけてください。その他を選んだ場合には、記号・番号に○印をつけた上で、() 内に御記入ください。

問 1	①	ア イ ウ エ オ カ（ ）				
	②	ア イ ウ エ オ カ（ ）				
	③	ア イ ウ エ オ カ（ ）				
	④	ア イ ウ エ オ カ（ ）				
問 2	1 国語（ 年） 8 家庭技術・家庭（ 年） 2 社会（ 年） 9 体育（保健体育）（ 年） 3 算数（数学）（ 年） 10 外国語（ 年） 4 生活（ 年） 11 道徳（ 年） 5 理科（ 年） 12 特別活動（遠足）（ 年） 6 音楽（ 年） 13 総合的な学習の時間（ 年） 7 図画工作（ 年） 14 その他（ ）（ 年）					
問 3	1 2 3 4 5（ ）					
問 4	1 2 3 4 5 6（ ）					
問 5	1 2 3 4 5					
問 6						